

第19回北東アジア港湾シンポジウム

(11月14日(水) 14:00-18:00 日本・静岡市、日本平ホテル)

主催

北東アジア港湾シンポジウム実行委員会、国土交通省港湾局

参加者

日中韓の官民の港湾関係者 約270名

(日本：209名、中国：16名、韓国：45名)

メインテーマ「みなとまちづくり」に関するプレゼンテーション

○第一部「海を核としたまちづくり」

- ・事例発表1 韓国：巨済島PFV(株) 社長 Shim Chung Seob 氏
「Geoje Gohyeon Port Redevelopment Project」
- ・事例発表2 中国：交通運輸部天津水運工程科学研究院 副主任 Gao Feng 氏
「The Development of Artificial Island Construction in China」
- ・事例発表3 日本：福山大学生命工学部 教授 高田 浩二 氏
「まちづくりとしての海洋教育の重要性」

○第二部「自然、景観、文化との共生」

- ・事例発表4 韓国：ワールド・ハンサン・ドリームアイランド(株) ディレクター
Choi Nakhoon 氏
「Redevelopment of Reclamation Site in Incheon, Korea」
- ・事例発表5 中国：交通運輸部天津水運工程科学研究院 副研究員 Chen Songgui 氏
「Coexistence with Nature
- Outlook of Ecological Dike Construction」
- ・事例発表6 日本：東海大学海洋学部 教授 東 恵子 氏
「自然と調和したみなとづくり 清水港」

○特別講演：静岡県 副知事 難波 喬司 氏

「清水港の明るい未来」

第19回北東アジア港湾シンポジウム（11月14日開催）



（シンポジウム会場の模様）



（左：発表される高田教授、右：発表される東教授）



（特別講演される難波静岡県副知事）